2019 年度　群馬県ユネスコ連絡協議会研修 in 安中

「アプトの道ウォーキング」

日本ユネスコ協会連盟は、100 年後の子供達に地域の文化・自然遺産を伝えるため未来遺産運動を推進してきた。本視察研修は、碓氷峠鉄道施設の歴史的価値を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、各ユ協の活動の更なる活性化を図ると共に、県内会員相互の親睦を深めることを目的とし開催する。

日　　時　：令和元年 6 月 2 日（日）
和太鼓演奏　午前 8 時 50 分より
研　　修　午前 9 時より 13 時まで

場　　所　：安中松井田町　峠の湯にて開会行事⇒アプトの道⇒旧熊ノ平駅
参　加　者：260 名　（県内ユネスコ協会会員 57 名　その他 203 名）

＜事業内容＞
来賓に安中市長、市議会議長、上野宏史衆議院議長、伊藤清群馬県議会議員、安中市教育長、特別ゲストに映画「赤い襷」の主役を演じた水島優さんを向かえ、
安中総合学園高校生による和太鼓演奏のアトラクションに続き、

特定非営利活動法人碓氷峠歴史文化遺産研究会代表（NPO 法人碓氷峠浪漫倶楽部）の萩原豊彦氏を講師に迎え、峠の湯から旧熊ノ平駅までのアプトの道を歩き、鉄道施設を実際に視察しながら、歴史・文化的な価値や実際にどのように使用されていたか等について研修した。　途中、三味線（上原梅弦氏）とカリンバ演奏（アキラック氏）を聴いていただくと共に、めがね橋上で参加者によるシャボン玉大会を実施、旧熊ノ平駅では、群馬サファリパークの入場券が当たる抽選会を行い研修会を盛り上げた。

＜感想＞

事業の目的である、碓氷峠鉄道施設の歴史的価値を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、各ユ協の活動の更なる活性化を図ると共に、県内会員相互の親睦を深めることができた。更に、研修視察終了後、峠の湯（温泉とレストラン）で疲れた体を癒していただくこと等により、多くの参加者に有意義は研修の場を提供できたと考えている。